

子連れも楽しい！船旅満喫！！ 母がひとり子ども3人連れ地獄めぐり！弾丸フェリー旅

【2017年12月 大阪府在住 K様】

（旅のコメント）

久しぶりの家族旅行。仕事が忙しいお父さんは一緒に行けないので、今回はお母さんと子供たちだけで出発です。
小学生の兄二人と、4才になったばかりの妹と母の4人の旅。
これまでも1度、母と子ども達だけで旅行に行ったことはあるけれど、フェリーの旅ってどうなん？
子どもにとってキツくないの！？ 船酔いは？
そんな疑問や不安を抱えつつ、行ってみることにしました～

さて、どうなることやら！？



（フェリーさんふらわあの旅1日目）

モノレールに乗って、フェリー乗り場に向かいます。

「トレードセンター前」で降ります。「フェリーターミナル」という駅もあるので間違えないようにしなくては。

南港ATCの中を歩いてフェリー乗り場へ。駅を降りてからは、ずっと建物の中なので雨の日でも安心ですね。

17時過ぎにチケット売り場に到着。

すぐ前にこんなパネルが置いてあったので分かりやすかったです。

子ども達は恥ずかしがって顔を入れませんでしたが、沢山の人がここで写真を撮っていました。



早めに行ったからか、並ぶことなくチケットを発券してもらいました。

19時5分発 大阪→別府

今回は小さい子どもが居るという事で、

未就学児の子ども連れの家族限定のファミリールームを割り当ててもらいました。

そして、端の場所がまだ空いていたのでそちらにしてもらうことができました。

ツーリストルームは雑魚寝のような状態なので、やはり真ん中よりは端の方が人気があるようです。



船に泊まろう。





乗船案内の18時まで1時間近くありましたが、
待合室の前のローソンで買い物したり近くの店をブラブラしているとあっという間に時間が過ぎました。

18時になり乗船ゲートが開くと、大きなお船を間近で見て子ども達は大興奮！
「わあ～！これに乗るん？」 「そうやで。泊まるんやで。」 「いえーい」 と、大騒ぎです。

いよいよ船内へ！
子ども達はワクワクです。

エントランスではスタッフが船室の案内をされていたので、
広い船内でも迷うことなく自分達の部屋へ、すぐにたどり着くことができました。
私達の寝場所があるファミリールームは2階にあり、一般室と同じ作りでした。
違ってするのは、全員小さい子ども連れということだけ。

荷物を置いて、船内探検へ。

まずはトイレの確認から。
洗面台は、数が多くとても清潔で新しいものでした。
ドライヤーも左右の壁に1つずつありました。
その他に、コンセントも洗面台に5か所ほどありました。
これは女性にとってうれしいですね。
到着前の洗顔やお化粧の時に、混雑せずに済みそうです。

実際、到着前に若いお嬢さんの団体がいらして、
みなさんクルクルドライヤーやヘアアイロンでおしゃれされていましたが、
とってもやりやすそうでした。
メイク道具の大きなボーチも置いてましたよ。
トイレもきれい！
水周りがきれいなのは、女性にとってうれしいですね。

次は、階段を下りてエントランスのあるフロアへ。
船長さんの衣装がありましたよ～



船に泊まろう。





エントランスの横には売店とレストランがありました。
売店はキオスクのような感じで、ビールやおつまみ、お菓子やお弁当、
それ以外にお土産もいろいろ販売されていました。
レストランはビュッフェ形式で、今夜はこちらで食事の予定です。



時間は18時半。レストランの席は、まだたくさん空いていました。
でも、窓際やソファの席などの居心地の良い席はなくなりつつあったので出航前で早いけれど、もう食事することにしました。

好きなものだけを取って見たら、こんな感じになりました。茶色い(笑)
ハンバーグ、ローストポーク、フライドチキン、イカソーメン、フライドポテトなどが子ども達に人気でした。

サラダも新鮮でパリパリして、ドレッシングは3種類ありました。



カレーはちょっと辛かったです。
でも、辛いのが苦手な長男も食べられたので中辛～甘口の間くらいのお味なのだと思います。

そして。食後のデザートはフルーツ、チョコフォンデュ、ベビーカステラ、ケーキ。
この他にもいくつかありましたが、全ては食べ切れませんでした。
フルーツは、オレンジ、マンゴー、パイナップルで、子ども達は何度もおかわりしていました。

そして！
大人気だったのが、チョコフォンデュ。
何回するの？ってくらいやりたがりました。
でも、うちの子だけでなくどのお子さん何度もされていました。



家ではできないので、かなり楽しかったみたいです。
しかし、小さい子連れでのビュッフェは、行ったり来たりのお世話が大変でした。

「私がやる！自分でやる！」のお年頃なので、ぴったりくっついてフォローしないと大変なことになっちゃいます。

船に泊まろう。





デザートも全て食べ終えたのが7時20分。
そのころには店内は満席で、4～5組の待ちがありました。
でも、そのあと7時50分頃に艦内放送で空席がありますと流れましたので、
早めに行くか遅く行くようにすれば待たずに食べられるようです。



食事を終えて、甲板デッキに出てみることに。寒いけれど、ATC がくっきり見えてとてもきれいでした。
風に吹かれて遠くに光る街を眺める子ども達。こういう時に、フェリーならではの旅情を感じます。

さようなら大阪～

外の探検もしたかったのだけど寒いのと、この日は風が強く子どもには危険を感じたので止めておきました。
波も高く、注意報が出ていたので乗り物酔いしやすい長男のために酔い止めを持ってきていましたが、念のため全員でそれを飲むことに。
ちなみに酔い止めキャンディーは売店でも販売されていました。

さて、体も冷えたことだしお風呂で温まりましょうか♪ 大きなお風呂！わーい！

と、子ども達はまたハイテンションに。

子どもが男の子だと幼児の時期を過ぎると、もう大浴場には一緒に入れません。
騒いだり泳いだりしないように、言い聞かせましたがちょっと心配…

今は長男が5年生と次男が3年生なのでそんなことはしなくなりましたが、
長男が1～2年生くらいまでは、幼稚園生の次男とはしゃぎまくりで、
子ども達だけで銭湯や温泉なんて絶対ムリ！な状態でした。
そのころのことが頭をよぎり、いまだに不安になってしまいます(汗)

脱衣所には、綿棒、ヘアゴム、コットン、ドライヤーが備え付けてありました。

私たちが入るとき、混雑していたのでちょっと待ってから入りました。
団体さんが出てからはガラガラで、ゆっくり落ち着いて入れました。
そのあと私たちが出る頃に、また混んできました。



船に泊まろう。





混雑しても回転が速いので、タイミングを見計らっていけば空いた状態に入れそうです。
子どもと一緒に、着替えさせたり洗ってやったりとスペースが必要なので、混んだお風呂は大変です。

大浴場の前にはゲームコーナーがあったので、男湯チームの兄二人とはそちらで待ち合わせをしました。
脱衣所は100円のコインロッカー式で、開けると返金されるので、
その100円はゲームに使って良いよ！ということに。
後で聞くと、二人ともUFOキャッチャーをしたけれど取れなかったと残念がってました。

もっとやりたい！ もうだめ！

という面倒くさいやり取りをすることに。やれやれ。

そういえば。
乗船チケットと一緒に、ガチャコインをもらっていたのを思い出しました。
子ども1人につき1枚なので、乗船料が無料の娘の分も合わせて3枚もらっていました。

ガチャの場所は秘密らしい。
子ども達はガチャコインを握りしめ、喜び勇んで船内を探しにいきました。

ふー。やれやれ。ガチャコインのおかげで助かりました(笑)

当たりだと、記念グッズが貰える引換券が入ってるようなのでハズレだったのですが、
子ども達は何かが貰えたことで満足していました。

落ち着いた子ども達。も、つかの間。
今度は、アイス！アイス！お風呂の後はアイス！ですって。
船内は暖かいので、確かに冬でもアイスが食べたくなりますね。

大浴場の隣の自販機コーナーにセブンティーンアイスの自販機があったので、そちらで好きなアイスを買って、
階段を上がってすぐのくつろぎコーナーでいただきました。
ここは目の届く範囲にキッズコーナーがあるので、子どもの遊ぶ姿を見ながら、私はゆっくりビールをいただくことができました。
子連れ旅行は楽しいけれど落ち着かないことが多いので、こんな時間が持てたことが本当に有り難かったです。



船に泊まろう。





こちらでは、たこ焼きやフライドポテトなどの自販機もあるので、レストランで食事をされなくて、このテーブルで済ませる方もありました。

お弁当やおにぎりなどで簡単に済ませたい場合や、子どもがまだ小さくてレストランには入りづらい方には助かりますね。

あと、ここはコンセントがたくさんあり、WIFIも繋がるので若い人は皆スマホでゲームをされていました。

私も明日に備えて充電させてもらいました。 スマホも私も(笑)

10時になったら消灯です。 船室に戻り、子ども達を寝かせます。

外に出ていたお客さんも戻ってきて、ファミリールームは満室でした。

1人辺りのスペースが狭いので、寝返りを打つこともできそうにありません(汗)

この日は赤ちゃん連れの方が3組、幼児連れがうちを含めて8組、あとは小学生くらいの子どもが6~7人いました。平日とはいえ、冬休みに入っていたのでファミリールームだけでなく船内全体が子どもの多い印象でした。

赤ちゃん達は、泣くのが仕事なので順番に泣いていました。

我が家も経験ありますが、赤ちゃん連れって本当に気を使うんですね。

なので、同じ室内に他にも赤ちゃんがいる！泣いても許される部屋！っていうのは、ほんとうに安心できると思うんです。

うちも、こんな環境なら赤ちゃんの頃から旅行に行けたかもな～

しかし、赤ちゃんが泣くのは元気な証拠！！元気があってよろしい！！

とは思っても、眠りに着くのに少し時間がかかりました。疲れていたのになんとか眠ることができましたが…

そして夜中も、やはり順番に夜泣きがあり、そのたびに目が覚めてしまいます。

そんな中でも、一度眠ったら起こしても起きないうちの子たちは、ぐっすり眠っているようでした。



船に泊まろう。





(フェリーさんふらわあの旅2日目)

おはようございます！

フェリーから降りて振り返ると、さんふらわあの船体が朝日に輝いていました。

「おおきいね！」 「また今日もこの船で泊まるの？やったあ！」

「お船さん、ちょっと待っててね」

今夜もフェリー泊ということに、子ども達は大喜びです。



弾丸フェリーということで、2夜連続でのフェリー泊は子どもが嫌がるかも…と心配していましたが、杞憂だったようです。

フェリーターミナル1階の案内所で亀の井バスの一泊フリーパスを購入しました。
別府市内の主要な場所を網羅したバスです。

ここではコインロッカーに、船内用の着替えの入ったバックを預けます。

まずは地獄めぐりを目指そうとしましたが、
朝ごはんをまだ食べていなかったのが最寄の朝食を食べられるお店を教えてくださいました。

フェリーターミナルの向かいの幹線道路沿いにある吉野家が一番近いようなので、そちらへ向かうことに。

別府に来て、何も吉野家に入らなくても…ということはもちろん考えましたが、
子ども達がお腹が減ったというので仕方ありません。

長男は目玉焼き定食、次男は牛丼を注文しました。

しっかり食べて、いっぱい遊ぼう♪

朝食は、早起きして船内で食べるようにしたほうが時間のロスが無いかと思いましたが、
眠いの無理やり食べさせるのもどうかと思ったので、それも仕方ありません。

食事を終え、鉄輪(かなわ)地区にある地獄を目指してバス乗り場へ戻ります。

子ども達は、なんて読むの？てつりん？と言ってました。

地名って難しいですね。



船に泊まろう。





8時33分のバスに乗ります。
あらかじめ、時間をチェックしておいたので5分ほどでバスがきました。
待っている間、子ども達はどんぐり拾いに夢中になっていました。
大阪では見たこと無い、大きなどんぐりが沢山落ちていました。

バスのフリーパスは、日付の所をコインで削ってから使用するものでした。
間違えて削ると無効になるそうです。気をつけねば。

モデルコースが載った冊子も貰いました。
冊子には後ろのほうに割引券が付いていましたが、私は気が付かず使っていませんでした。
いくつかの施設で使えたので残念です。これから行かれる方はご注意ください！

鉄輪到着。

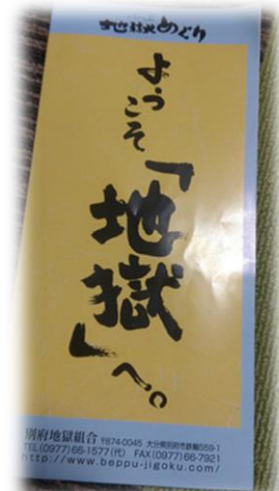
湯煙が、あちらこちらから湧き上がっています。
そこらじゅうの排水溝からも湯気がもくもく出ている、見たこと無い風景です。

鉄輪のバス停には、観光案内所があり、そちらで地獄めぐりのパンフレットをもらいました。

地獄共通入場券(7つの地獄に入れます)
大人2000円 小学生900円 幼児は無料

我が家は、子ども達が途中で飽きてしまうともったいないので、地獄ごとに、その都度支払うことにしました。

地獄1軒あたり
大人400円 小学生200円 幼児は無料



船に泊まろう。





◆別府地獄めぐり

・かまど地獄

別府は、こんな顔を出す看板が、いたるところにある街でした。
さすが観光地。

地獄なので、そこらじゅうに鬼がいました(笑)

かまど地獄は、いろんな地獄のダイジェスト版のようなところらしく、
各地獄の規模の小さいものが見られるようでした。
足湯があったので入ってみることに。
子ども達はズボンを膝まで捲っていたのですが、バシャバシャやってた
せいか長男だけズボンの裾がビシャビシャに！
さっそく着替えることになってしまいました(汗)



・鬼山地獄

ここにも鬼がいました。

おお！ワニがウジャウジャいます。

こんな看板が！こわい～汗

エサやりの時間になると、大きな肉の塊をワニの檻の中に放り込みます。

最後は、ニワトリ1匹丸ごと。
もらえたワニさんはラッキーでした。

こちらには、昔ここにいたという大きなワニの剥製や、最近生まれた赤ちゃんワニがいる展示室もありました。
全て見ても、さきほどのかまど地獄よりも滞在時間は短かったです。

船に泊まろう。





そして、この後は海地獄へ行くことに…と思っていたら

「温泉見るばかりなの飽きた～」 「温泉入りたい～」

と、グズりはじめました。

説得したけれど、子ども達は諦めてくれないので私が諦めて温泉に入ることに。
海地獄と血の池地獄、行きたかったな…

でも、こんな風に計画通りに行かないのが子連れ旅。
予定変更、いきあたりばったり上等！の精神で挑まないと楽しめません。

街の人に聞くと、鉄輪バス停の近くに公衆浴場があるらしく、そちらへ向かうことに。
見つけたところは「渋の湯」情緒のある建物です。 大人も子どもも、1人100円。

ガラリと扉を開けると、脱衣所から湯船までひと続きで扉が無い！
お湯に浸かっている女性が見えて、焦りました～
脱衣棚に遮られるので丸見えにはならないですが、若い方は抵抗があるかもしれません。

温泉街を歩いて鉄輪バス停方面へ。 この鄙びた町並みが素敵です。

飲泉場を発見！
飲んでみると、しょっぱくて鉄臭くて…
私も子ども達も、ほんの少しでごちそうさまでした。

敷地の中には足蒸しもありました。
奥には食事ができるお店もあり、
覗いてみると11時過ぎだというのに既に沢山のお客さんが。

「地獄蒸し工房鉄輪」
有名な店のようです。少し早いけれど、こちらで昼食をいただくことに。



鉄輪温泉
渋の湯

↑ 渋の湯HP



船に泊まろう。





メニューを見て、食べたいものと蒸し釜のサイズを選んで券売機で食券を買います。
私達は卵、トウモロコシ、サツマイモ、やきとり、鶏肉を選びました。
代金は、食材と釜代を合わせて3500円くらいでした。

券売機の前にはお店のおじさんがいて、食券を買うお手伝いをされており、外国人のお客さんには流暢な英語で対応されていました。
かっこい〜！
ほんとに国際的な街だなあ。別府。

食券と引き換えにもらった食材を釜に入れて蒸します。
これは子どもは出来ません。

自分で蒸す体験もできて、あつあつの新鮮な食材をいただける。
ただ塩やしょうゆだけの味付けなのにとっても美味しくて。こちらを昼食に選んでよかったです。

美味しかったので、卵はもう一度追加しました。
自分が借りている釜の時間内なら追加オーケーだそうです。

11時半を過ぎた頃から、店内は満席になり行列ができ始めました。
外国人の割合が多かったように感じたので、きっと海外でも有名なんでしょうね。

12時過ぎに食事を終え、次に目指したのはこちら。

「ひょうたん温泉の砂湯」

鉄輪のバス停からだと徒歩で10分程度だそうです。
でも、小さい子を連れているので私達は20分程かかりました。

砂湯といえば海浜砂湯が有名なのですが、あちらは大人も子どもも一律で1000円。
4人で4000円。高い。ってなことで、ひょうたん温泉へ。



船に泊まろう。





時間帯が良かったのか、冬休みとはいえ平日だからなのか、この日はとても空いていました。

砂湯に入るには専用の浴衣に着替えなければいけません。
大人は帯と紙パンツがついていました。
子どもはありません。

砂湯場は写真撮影が禁止だったので残念ですが、子ども達は砂に埋めあったり、大きなショベルで深く掘ったりとかなり楽しんでいました。
娘は砂に埋まるのを嫌がり(やっぱり!)ずっと片隅でお山を作っていました。

ところが、こんな大量の砂でお砂遊びなんて初めてで楽しすぎたのか、なかなか出ようとしないで大変でした。

砂まみれになったあとは、温泉で温まります。

ここの打たせ湯は、先日の「イッテQ」のシンフロ部のコーナーで放送されていました。
温泉でシンクロするからシンフロ(笑)長男と次男が男湯で真似してないか心配です。

温泉のあとはやっぱり牛乳ですよ。
ソフトクリームやセブンティーンアイスも売っていました。
写真は、地獄蒸しプリンにソフトクリームが乗っているものです。
ここのプリンは、かまど地獄で食べたものよりあっさりしていました。
あちらのしょうゆプリンを食べる前なら素直に美味しい!! と言えたのになあ。おいしい!

ひょうたん温泉でゆっくり過ごし、時間は午後2時半。
18時45分発のフェリーに乗らなくてはいけないので、午後6時にはフェリー乗り場に戻りたい。
残された時間は3時間半程度。

なにができるかな～?



船に泊まろう。





考えながら鉄輪のバス停まで歩いていると、へんな実の生る木を発見！！
中は空洞でほおずきみたいなものにトゲトゲした物がついていました。
トゲは痛くありません。

こんな、不思議なものや見たことも無いものに出会えるのも旅の面白さなんだと思いました。

別府の駅前に行ってみるか？
それともどこか別の場所に…？

迷った挙句に向かった場所は
「ラクテンチ」

ここは、YouTubeの動画で一躍全国的に有名になった「湯～園地」の遊園地なのです。
ケーブルカーに乗って、山の上の遊園地に向かうっていうのも楽しそう。

鉄輪からは15時5分発のラクテンチ行きのバスに乗りました。
30分程度かかりました。その間子ども達は爆睡！私もウトウトしましたが、乗り過ごしてはいけなかったので必死でした。
お風呂上り、ほんとヤバイ。気持ちよすぎる。

午後3時半、ラクテンチに到着～！

チケットを買いに窓口に行くと
「本日は4時で閉園なんです…せっかく来て頂いたのですが、もう今からでは入場できません。」

うそーん！ パンフレットには5時までって書いてあるやん！と、

営業時間をよく見ると、ちっちゃーい字で

「6月、12月は4時まで」って書いてある。 しまったーん！

ということで、仕方なくタクシーで港の方面へ。。



船に泊まろう。





タクシーで別府駅前に行ってもらおうとしたのだけど

「おみやげを買いたい。あとは最後に何か名物を食べたい。とり天とか、団子汁とか。」

との私の言葉を聞いた運転手さんが薦めてくれた場所は 「別府交通センター」

別府駅からだとフェリーターミナルまで、またバスやタクシーに乗らなきゃならないけど、ここなら徒歩でいけるから。おみやげは、大分県のものは何でも揃っているし、レストランもあるよ！
ということで、そちらに決定。

着いてみると、フェリーターミナルと同じ海沿いにあり、さんふらわあも小さく見えていました。
タクシー料金は、ラクテンチから交通センターまで1300円でした。

時刻は午後4時。

お腹もそんなに空いていないので、まずは、おみやげを物色して…
子ども達も、お友達にあげたいものを真剣に選んでいました。
店内は広く、運転手さんの云うとおり大分の様々な名産品がありました。

あれやこれやと買い込んで、さあ、そろそろ何か食べないとフェリーの時間もあることだし。

1階にあるレストラン(昔ながらの喫茶店のようなお店でした)に行くと、なんか暗い。

でも、お店の中に人がいるので声をかけると
「すみません、4時半ラストオーダーなんです」 時刻は4時40分になろうとしていました…

おみやげを後にしていれば！と思っても後の祭りです。

そもそも、こんなに早くに閉店するなんて、夢にも思っていなかったのでどうしようもないですね。

仕方なく、とり天と団子汁に後ろ髪を引かれながらフェリー乗り場に歩いて向かいます。



船に泊まろう。





フェリーのチケット売り場には5時前に到着。

帰りの便もファミリールームを提案されましたが、行きの便で眠れなかったことを相談すると、一般室に変えてくれました。

今現在は空いており、席もまばらなようだったので、とりあえずひと安心。

幼稚園生の娘は、騒がしくすることもないので一般室でも他の方に迷惑をかけることもないだろうとの判断でしたが、兄二人が同じ年の頃は全然違って騒がしかったです。年齢ではなく、子どものタイプで考えるべきだと感じました。

おみやげや洗濯物のバックが増えて、帰りは大荷物になってしまいました。船内は、ほぼバリアフリーなのでこまの付いたキャリーケースを使っている方が多かったです。我が家もそうすればよかったです。

乗船案内の時間が来て、船内へ。帰りも一時間前から乗り込みます。

荷物を自分達の船室に置いて、食事場所の確保に向かいます。ちょこちょこ間食していたので、そんなにお腹が空いていなかったのと、娘がキッズコーナーで遊びたいと言うので帰りの便では、くつろぎコーナーを利用することに。

さようなら！別府！

離れていく港を見ながら、名残惜しそうな子ども達。港のスタッフ達が、いつまでもライトを持って手を振ってくれていたのが印象的でした。

おにぎり、カップ焼きそばの晩餐です。自販機のたこ焼きも食べてみましたが、美味しかったですよ！大阪人のお墨付き(笑)売店にはお弁当も売っていたので、船内での食事は困ることは無さそうです。



船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

娘は食べるとすぐにキッズコーナーに跳んでいきました。
遊ぶ姿をチラチラ見ながらゆっくり食べて、ビールも飲んで。あー幸せ。
レストランのバイキングもよかったけれど、
こちらでリラックスして頂くのも同じくらいよいものでした。



カップ焼きそばは、船室の近くの給湯器でつくりました。
赤ちゃんのミルクもここで作ります。
ここには冷水機もあるので、空いたペットボトルにもらったりもしました。
夜中に喉が渴いたら飲めるように準備しましたが、そんなに乾燥していなかったのか必要ありませんでした。

いっぱい遊んでお風呂に入ったら、消灯の時間です。おやすみなさい。
通りがかりにチラッとファミリールームを覗いたら、やっぱり今日も満席のようでした。
対して、一般のツーリストルームの乗船率は50～60%に感じました。



今回は、往復ともに大部屋のツーリストルームだったので、次回はベットのお部屋を利用してみたいな。
でも、娘がまだひとりでは寝られないので、ベットで添い寝はキツイかな～？

（フェリーさんふらわあの旅3日目）
午前6時45分。
まだ暗い中、大阪港に到着しました。
帰りの便では、一度も目覚めることなく、ぐっすり眠れました。
子ども達も同じだったようです。

朝早い時間のためモノレール地下鉄ともに、どちらも空いており、ゆっくり座って帰ることができました。
そして、子ども達は船内でたっぷり眠ったおかげで、元気いっぱい！
風邪を引くこともなく無事に帰ってくることができました。



出発前は、子どもを連れて2泊とも船で宿泊するということで不安もあったけれど、
実際に経験してみたらホテルや旅館に泊まるのと同じくらい変わらないと感じました。

船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

ご飯を食べて、お風呂に入って、寝る。
日常生活そのものの流れで過ごしているうちに目的地に着いてしまうことで、
子ども達に無理をさせることなく、体の負担も少なかったと思います。
それに、心配していた船酔いも殆どなく、むしろ快適なくらいでした。



出かけるまでは、不安なこともあったけれど、フェリーは母と子どもに優しい乗り物でした。
そして弾丸フェリーは、フェリーならではの利点を生かした合理的な旅のスタイルだと思いました。

もし、子どもを連れて旅行に行きたいと迷っている方があれば、自信を持っておすすめしたいです。

弾丸フェリー、楽しいよ！！

☆今回の旅先での行程☆

亀の井バスぐるすぱ利用！

鉄輪地区へ～地獄めぐり～渋の湯～

鉄輪蒸し工房～ひょうたん温泉～らくてんち～別府交通センター



(POINT)

- ・ 子供連れの場合は、一日券よりもそれぞれ単体で購入する方がお得！
- ・ 船内はほぼバリアフリーなのでキャリーバックが楽！
- ・ 別府の観光地の営業時間とバスの時刻は事前に確認！

☆今回の行程でおすすめ「弾丸フェリー®」。往復10,000円～楽しめる船旅です。

船に泊まろう。

